

東京2020大会期間中の物流抑制に係る ご協力について(要請)

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、東京2020大会（以下、「大会」という。）の円滑な運営へのご協力をはじめ、トラック運送業界に対しましても、格別なるお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東京都、国及び東京2020組織委員会が推進する「2020TDM推進プロジェクト」では、大会関係者や観客等の移動による交通量の増加等への対応として、交通量の抑制や分散、平準化を行う「交通需要マネジメント（TDM）」により、円滑な大会輸送の実現と経済活動の維持との両立を図ることを求めています。

また、平成30年12月には九都県市首脳会議から「東京2020大会期間中のTDM推進について」要望を受け、トラック運送業界としても、都とも連携し、大会期間中の休日並みの良好な交通環境（首都高では交通量30%程度減）実現のため、関係者一丸となって取組むこととしたところです。

一方、事業用トラックが輸送する貨物は、荷主（荷送り側及び荷受け側）からの受け取り又は引き渡し日時等の指示を受けることがほとんどであり、トラック運送事業者の都合による配送はほとんどない状況となっています。

このため、大会の成功に向けTDMの実効性を高めるには、トラック運送業界の取組みだけでは実現不可能であり、荷主等関係者の相互理解を得ることが必要不可欠なことから、都では、別添のような広報用資料を用いて東京商工会議所等を通じて荷主等に働きかけを行うことにより、荷主と運送事業者との連携による効率的な配送などに努めるよう求めているところです。

こうした背景もあり、荷主等のご関係者におかれましても、大会期間中における配送の時間変更やルート変更など、物流における大会時の混雑を避ける措置等に関しまして、トラック運送事業者と一体となった取組みの促進につきまして深いご理解とご協力方、よろしくお願いいたします。

敬 白

○東京都オリンピック・パラリンピック準備局	(連絡先)	03-5320-7696
○公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会輸送局	〃	03-6634-5314
○一般社団法人東京都トラック協会	〃	03-3359-6251
○一般社団法人神奈川県トラック協会	〃	045-471-5511
○一般社団法人千葉県トラック協会	〃	043-247-1131
○一般社団法人埼玉県トラック協会	〃	048-645-2771
○一般社団法人茨城県トラック協会	〃	029-303-6363
○一般社団法人群馬県トラック協会	〃	027-261-0244
○一般社団法人栃木県トラック協会	〃	028-658-2515
○一般社団法人山梨県トラック協会	〃	055-262-5561
○公益社団法人全日本トラック協会 交通・環境部	〃	03-3354-1045

東京オリンピック・パラリンピック 競技大会中の

公認プログラム
街づくり



スムーズな交通輸送にご協力をお願いします！

2020年の夏、オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。大会期間中は選手や大会関係者、メディア、観客等、多くの人が東京を訪れるため、何も対策をしないと道路や公共交通機関の深刻な混雑が発生する恐れがあります。

大会期間中、何も交通対策を行わなかった場合…



首都高の渋滞は約2倍に悪化

1日あたり道路を走る車が約5～6万台ほど増加



鉄道利用者が約1割増加

1日あたり約80万人の観客等が鉄道を利用

<2020年カレンダー>

オリンピック：7月24日～8月9日 パラリンピック：8月25日～9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	24 開会式 スポーツの日	25
26 自転車競技	27 トライアスロン	28 トライアスロン	29	30	31 競歩	8/1 トライアスロン
2 マラソン	3	4	5	6	7 競歩	8 競歩
9 閉会式 マラソン	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29 トライアスロン
30 トライアスロン	31	9/1	2	3	4	5
6 閉会式 マラソン	7	8	9	10	11	12

例年お盆前で物量が増える時期

交通対策が特に必要な期間

路上競技の開催日

対策や事前準備を行わないと、人やモノの移動に影響を受けるなど「遅延」のリスクが高まる可能性があります

例えば…

- 部品等の搬入が遅れる
- スーパーやコンビニ等に商品が届かない
- 宅配便が時間通りに届かない

- 保守、点検にエンジニアが間に合わない
- ATMの現金切れ
- 始業時間や商談・打合せの時刻に間に合わない 等

このようなリスクを回避し、大会期間中も安定した経済活動を
継続していくためには、**事前の準備が大切です！**

企業の皆さまへのお願い

「2020TDM推進プロジェクト」にまずはご登録ください！

ご登録いただくと、東京オリンピック・パラリンピック大会期間中の
交通情報を、メールマガジン等にていち早くご提供します！

※登録による費用や義務等は一切発生いたしません。 ※部署ごとのご登録も可能です。

2020TDM推進プロジェクトとは

東京都・内閣官房・東京2020組織委員会が事務局となり東京2020大会の円滑な大会運営/輸送の実現と、経済活動の維持との両立を図るため、交通需要を抑制する取り組みです。

登録の
メリット

コンサルタント
等による
個別相談対応

セミナー・説明会
の案内

東京2020大会に
向けた取組への
賛同者として
HPに企業名掲載

大会輸送影響度
マップの更新情報
をお知らせ



東京都は、快適な通勤環境や企業の生産性の向上を図る新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズBiz」とし、2020大会の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント(TDM)とテレワーク、時差Bizなどの取組を一体的に推進しています。「2020TDM推進プロジェクト」にご登録頂いた企業等の皆さまは、特にお申し出のない限り「スムーズBiz」にもご賛同頂いたものと取り扱わせて頂きます。

登録は
こちら

2020TDM

検索

<https://2020tdm.tokyo/>



裏面も
ご確認ください→

事前準備チェックリスト

大会期間中に自社がどのような取り組みを行っていくべきか、まずはチェックリストで確認してみましょう。

CHECK1 自社への影響度を確認する

該当する項目に
チェックを入れてみましょう

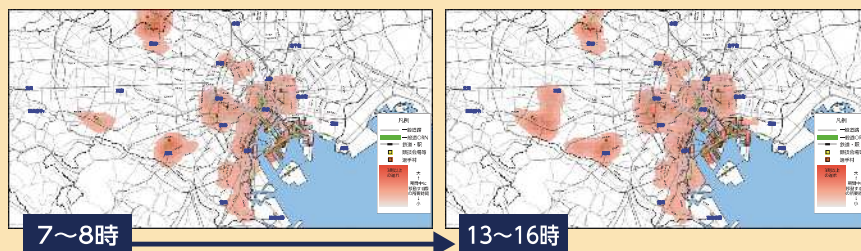
- 競技会場の近くに事業所/
取引先がある
- 高速道路を利用する
- 昼間の車利用が多い
- 宅配便をよく使う
- 輸出入を伴う事業を
行っている
- 臨海部からの納品がある
- よく使うルートが大会の
影響を受けるエリアを通る

参考 大会輸送影響度マップ

2020TDM推進プロジェクトでは、大会期間中に何も対策を行わなかった場合の、一般・高速道路や鉄道、競技会場周辺道路等に生じる影響についてまとめた混雑予想マップを公表しています。

自社への影響度を確認する際に、ぜひご参考ください。

例 一般道路の混雑状況予想 2020年7月31日



CHECK2 「2020アクションプラン」(大会期間中の行動計画)を作成する

① 想定される課題と対応策を検討する



従業員が時間通りに
出勤できるか心配だ

取り組みそうな項目にチェックを入れてみましょう

- 大会期間中の休暇の計画的な取得
- 時差出勤の導入
- フレックスタイム制の導入
- テレワークの導入
- 打合せのメール・電話等での代替
- 営業時間の変更
- 大会期間に合わせた休業
- ゴミの削減



配送がこれまで通り
できるか心配だ

取り組みそうな項目にチェックを入れてみましょう

- ◆ 荷主と話し合う必要があること
 - プラス1日のリードタイム
 - 検品の簡素化
 - 大会期間中を避けて配送する(事前・事後配送)
 - 再配達回数を削減する
 - 配送・集配時間を変更する
- ◆ 自社で工夫できること
 - 事前に在庫を多く持つ
 - 混雑地域の回避・迂回
 - 積載効率のアップ(共同化、帰り荷の確保)
 - パレット等の規格化

② チェックを入れた項目が「2020アクションプラン」のStep1になります。

- Step1. 具体的な取組内容を決定(何をするか、いつからはじめるか)
- Step2. 担当部署や担当者を整理
- Step3. 実施方法の確認

「2020アクションプラン」の作成にあたっては、コンサルタントによる個別相談の支援制度も活用いただけます(「2020TDM推進プロジェクト」への登録が必要)